

鳥取県における今夏の省エネ・節電の取組について

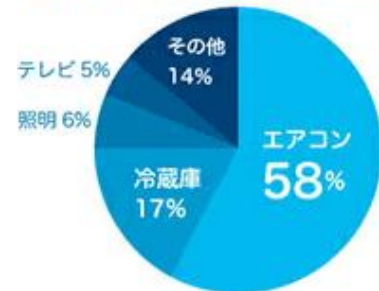
1 電力需給対策の状況

中国地方では、昨夏の最大電力発生日においても供給予備率 10.6%を確保し、今夏も 10 年に 1 度の猛暑を想定した場合でも供給予備率 8.4%が見込まれ、電力が安定供給される見通しである。

2 取組方針

- 「第 2 期とっとり環境イニシアティブプラン」で掲げる国を上回る温室効果ガス削減目標(2030 年に 2013 年比 26.9%削減)達成に向けて、県民・事業者等へ無理のない範囲での継続的な省エネ・節電を呼びかけ、実践を促す。
- 夏季の家庭での電力消費の約 6 割を占めるエアコンの使用抑制に重点を置いた取組を行う。

夏の日中(14 時頃)の消費電力(全世界平均)



(資源エネルギー庁の推計)

3 取組内容

(1) クールシェアの推進

節電のために暑さを我慢するのではなく、涼しい場所にみんなで集まり、家庭や地域で楽しみながら、家庭でのエアコンの省エネ・節電につなげる「クールシェア」を推進していく。(環境省も 2012 年から取り組んでいる。)



(2) 取組内容

6 月 21 日(夏至)から 9 月 12 日(県民の日)を重点期間として、「山の日」記念全国大会、大山開山 1300 年祭、山陰海岸ジオパーク、星取県の取組等と連携した「クールシェア」による省エネ・節電を促し、郷土の魅力再発見にもつなげる。

ア クールシェアキャラバンの実施

海・山やスタジアム等でクールシェアを体験しながら省エネ・節電について学ぶキャラバンを実施し、県民にクールシェアを呼びかける。

イ 星取県ライトダウンキャンペーン

期間中、県庁舎等の消灯を率先して行う。また、不要な照明を消すことを県民に広く呼びかけ、県内各地で開催される星空関連イベントへの参加等により星空を楽しむことを促す。

ウ 民間企業・団体や市町村等との協働・連携

民間企業・団体や市町村等との協働・連携によるクールシェアスポットの拡大やイベント開催等を通じて、クールシェアの取組を広げる。

<参考>環境省「クールシェア」推奨ロゴ

